全長226メートルのセオドール号が接岸すると広い港内も狭く見える　—1月10日写す—

座談会

新潟港 新時代

次は七万トン船の受け入れ

西防波堤の延長を早く

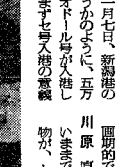
開港百年、特定重要港湾昇格、五万三千トンの入港—というふうに、新潟港はこのところ"おめでた続き"です。特に七号の入港は日本海の代表港としての新潟港の将来性を決定的にした、との見方がされています。そこで、新潟港の現状と将来について、関係者の人たちからいろいろ話し合っていただきました。

画期的な五万トン船入港

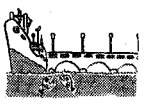
司会　去る一月七日、新潟港のさい先を祝うかのように、五万三千トンのセオドール号が入港しましたが、まず七号入港の感想といったところから…。

和田　七号の入港を契機に、新潟港の拡張が促進されると思います。そういう意味で、非常に画期的です。

川原　埠頭港の整備によりていままで新潟港で扱っていた貨物が、かなり埠頭港に回るようになってきている。新潟港でその減った分を他の貨物でカバーするということは容易ではない。しかし、セオドール号のような船で大量の荷物を新潟港へ中継するというようにやれば、一挙に荷扱量はふえる。こんどの場合でも、富山とか伏木へ回す荷物がほとんどでしたね。



大久保　そう。群馬県や富山県の工場とか、県内でも埠頭の工場向けの荷物でした。私どもの方では、いま川原さんがおっしゃったように、新潟港へ貨物量をふやすには、大型船を受け入れできる態勢にしなければというわけで、地盤整備の際、大型船舶整備にそれに見合う荷役設備整備に力を注いできています。



和田　富山でも港湾を造っていますが、とりあえず二万トンから三万トン程度の船が利用するでしょう。大型船はやはり新潟港へはいってくると思います。

五万トンのはいる港は少ない

司会　七号は、満載状態では大阪港へはいれないので、新潟港に来てはいり、荷物を半分おろしてから大阪に向かったそうですが、大阪にはいれない事情は…？

和田　公共ふ頭の水深は十メートルあればよいというふうに運輸省で決めています。そんなわけで、大阪の埠頭船も水深十メートル。したがって満船で水深十・五メートルの七号は入港できないんです。

大久保　新潟港は河口港なので、十メートルの水深を維持するために、上流からの土砂で埋まるのも考えて除く掘っています。

和田　港内から水路、港内にかけ水深十二メートルくらいに掘っています。ところによっては十四メートルくらいあります。

大久保　五万トン級の船のはいれる港はむしろ珍しいわけです。

港内の水深は14メートルに

司会　七号は年内にあと三回ほど新潟へくると聞きましたが、大久保さんの方では、新潟港に来る七号がはいったので自信を深め、もう三航海させるそうです。

司会　県営ふ頭の大型受け入れ態勢について中尾さんから…。

中尾　いまの段階では、県営ふ頭で扱っているのは木材や肥料が多いので、大型船を受け入れる施設の必要は出てきていません。しかし、将来に備えて施設の拡充を図っておいたら、というふうに考えています。

司会　年末から年始にかけて、新潟港でもだいぶ船の神待ちが出てきているようです。

和田　七号のはいった日も、三～四隻神待ちしてましたね。

大久保　年末から二万トン級の船が…。

司会　年末から年始にかけて、新潟港でもだいぶ船の神待ちが出てきているようです。

川原　船員に良い感じを与えると、それが評判になってまた来てくれる。そのためにも港の場がもっとほしい。それから船員から お金をぼったくりしないで、暖かく迎えほしい。

船員は暖かく迎えよう

司会　新潟港のサービス面はどうでしょう…？

中尾　昨年、開港百年祭の記念として事務局小さい公園を造りましたが、こんどは木を植えたりベンチを置くことにした。

川原　船員に良い感じを与えると、それが評判になってまた来てくれる。そのためにも港の場がもっとほしい。それから船員から お金をぼったくりしないで、暖かく迎えほしい。

司会　新潟港のサービス面はどうでしょう…？

中尾　昨年、開港百年祭の記念として事務局小さい公園を造りましたが、こんどは木を植えたりベンチを置くことにした。

川原　船員に良い感じを与えると、それが評判になってまた来てくれる。そのために港の場がもっとほしい。それから船員から お金をぼったくりしないで、暖かく迎えほしい。

司会　南船はますます大型化するわけですが、新潟港の次の目標…？

川原　タンカーのような船は別ですが、貨物船は七万～八万程度まで考えれば良いと思います。造船界では七万トンでも水深十二メートルくらいにおさえていますから、あと二メートルくらい掘れは七万トン級の船もはいります